



▲「海の日」に海王丸パークで、街宣活動

# 射水更生保護

いみずこうせいほく

発行編集 射水保護司会  
会長 江尻 昭

TEL 0766-86-0123  
〒939-0284  
射水市新開発410番1  
射水市福祉保健部  
地域福祉課内

## 7月は「社会を明るくする運動」 強調月間・再犯防止啓発月間です。

### 新任ごあいさつ

射水保護司会 会長 江尻 昭

平成29年度定期総会において、会長に選任されました。重責に身が引き締まる思いです。

私は昭和63年4月に保護司の委嘱をいただき、以来今年で29年となりました。この間、保護司を取り巻く環境が大きく変わりました。一番変わったのは、「社会貢献活動」が本格導入された事だと思えます。昨年六月には「刑の一部執行猶予」制度が施行され、保護司に期待される役割も大きくなりました。

射水保護司会では4年前「サポートセンター射水」が開所し、保護司同士のコミュニケーションの場ができました。保護司の活動が個人のプレーからチームの活動に、また、チームの活動から組織としての活動に大きく変わってきています。昨年の10月23日に実施した「射水保護司会設立十周年記念式典」では組織的な動きのもと、高い評価をいただきました。また、

全国に先駆けてホームページによる情報発信、サポートセンターの運営についても高い評価をいただき、県内外より見学をいただくよ

うにもなりました。

しかし、保護司全員がサポートセンターを十分に活用できるまでには至っていません。そこで、今年度は58名の保護司全員がいつでも気軽に立ち寄れる「場」として、サポートセンターの運営を見直し、新たに「サポートセンター長」を設けました。また、パソコンも一台新規に購入致しました。何時でも飲めるコーヒーマシンも準備してあります。保護司同士のコミュニケーションが活発になり、より多くの情報を吸収し、多くのことを発信できる、会員全員の活動の拠点として機能することができるようサポートセンターになるのではな

いかと期待しています。

射水保護司会では、今年も「犯罪や非行を防ぎ、再犯者の出ない」、また「立ち直ろうとする人を地域で支え合う」、「明るい射水市」になるよう、色々な行事に取り組みます。今後とも保護司の皆様をはじめ行政機関、関係団体のご支援とご協力をよろしくお願ひします。

『更生保護サポートセンター射水』 月曜日から金曜日 / 午前9:30～午後3:30まで

射水市役所大門庁舎 車庫棟2階  
〒939-0234 射水市二〇1081番地

電話：0766 (52) 7696  
FAX：0766 (52) 7697

E-mail: imizuhogoshikai@gmail.com  
ホームページ URL: hogosi.com

※保護司が交代で常駐しています。



# 立ち直ろうとする人に

## 寄り添う社会に

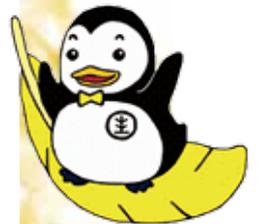
5月31日、射水市役所で第67回「社会を明るくする運動」射水市推進委員会が開かれました。

委員長の夏野元志市長が「地域と共に、地道な活動を続けていくことが大切だ」とあいさつしました。  
 犯罪や非行のない安心安全で住みやすい射水市の実現のため、多彩な活動を行っていくことを確認しました。  
 強調月間の7月に海王丸パークで街宣活動を展開するほか、射水市作品コンテストや優秀作品の表彰式、市内14小学校で薬物乱用防止教室を行います。

# 第67回「社会を明るくする運動」

## 射水市中学生生活体験発表大会開催

牧野将也さん(小杉中) 県大会へ



第67回「社会を明るくする運動」の一環として、第36回射水市中学生生活体験発表大会が5月18日射水市立射北中学校で、開かれました。この大会は、毎年「社会を明るくする運動」射水市推進委員会と射水保護司会が主催し、会場・運営を市内各中学校持ち回りで御協力をいただいています。

江尻昭射水保護司会長のあいさつにつづいて、黒田和治射水市中学校長会長の激励の言葉を受け、市内六校の代表者が日常生活や学校生活で体験したことや考えたことを、5分間の持ち時間内で発表しました。

審査中には、富山県推進大使に委嘱された富山県住みます芸人のフィッシュ&チップスさんが出演しました。審査委員長の杉本茂射水市教育委員会事務局次長より講評・審査結果が発表され、富山県大会の射水市代表には、「どんなリーダーであるべきか」と題し発表した牧野将也さん(小杉中3年)が選ばれました。

牧野さんは、生徒会長として自分の目指すリーダーシップを探る中、先生や友達からダメ出しをもらい、すすんでみんなの声に耳を傾けた。任期を全うできたのは、先生や友達のおかげ

当日、運営にご協力いただいた射北中学校職員の皆様、司会進行役をしてくださった生徒会、発表に真剣に耳を傾けてくださった射北中学校全校生徒の皆さん、ありがとうございました。

### 体験発表者及び演題 (発表順)

- 『地域の歴史を守ること』 金三津 歩さん(射北中3年)
- 『当たり前前の幸せ』 山崎 萌華さん(新湊南中3年)
- 『選択』 小沼 越琉さん(小杉南中2年)
- 『心の在り方』 奥 佑樹さん(天門中3年)
- 『どんなリーダーであるべきか』 牧野 将也さん(小杉中3年)
- 『勇気をもって』 磯部 菜摘さん(新湊中3年)

発表者の皆さん



### 富山県大会「チューリップテレビ社長賞」に輝く

7月1日富山国際会議場で、第55回富山県中学生生活体験発表大会が行われました。射水市代表牧野さんは、堂々と発表され、チューリップテレビ社長賞に輝きました。



▲牧野将也さん

# 市役所で首相メッセージ伝達

6月30日射水市役所で「社会を明るくする運動」の首相メッセージ伝達式が行われました。江尻昭射水保護司会長が、「犯罪や非行をした人を地域から孤立させず、支えていくことが大切」などと首相メッセージを読み上げ、夏野元志市長、竹内美津子射水市議会議長に託しました。



▲夏野元志市長(左)と江尻昭射水保護司会長(右)



▼竹内美津子射水市議会議長(左)

## 「幸福の黄色い羽根」ってなに?

「幸福(しあわせ)の黄色い羽根」は、犯罪のない幸福で明るい社会を願うシンボルとして使用されています。更生保護のシンボルマークであるヒマワリの黄色と、刑期を終え出所した男性をあたたく迎える夫婦愛を描いた映画「幸福の黄色いハンカチ」(昭和52年、山田洋次監督)から着想を得て、長崎地区保護司会が平成21年に「社会を明るくする運動」での活用を始めたものであり、平成23年からは全国で「社会を明るくする運動」への賛同を示す身近な協力のしるしとして使用されています。

## 「社会を明るくする運動」とは?

法務省が昭和26年に開始。すべての国民が犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない、安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。7月は強調月間として、全国で様々な催しが行われています。射水保護司会では毎年海の日、海王丸パークで街頭宣伝活動を行っています。



## インタビュー 射水保護司会副会長 豊田博保

### 山本修射水地区更生保護 協力雇用主会長に聞く



▲山本修射水地区更生保護雇用主会長

**豊田** 山本会長、この度は叙勲に続き法務大臣感謝状受彰おめでとうございました。協力雇用主会発足のきっかけはどのような経緯からだったのでしょうか?

**山本** 平成11年に県知事からの要請で呉東は横山栄議員、呉西は私が県議の中から保護司として選任され、雇用主会も設立されました。すぐに保護観察対象者2名を預かり、私の判断で富山から離れた方が良かったらと思う、八王子と甲府の営業所の方へ住み込みで入社させ、面倒を見ました。

**豊田** その後に射水市更生保護協力が設立され、県の方でも富山県就労支援事業者機構ができたわけですね。

**山本** 射水地区は平成20年10月に設立され会長に就任致しました。また、県の方は平成21年6月に設立され、米原審会長の元で副会長になり現在に至っております。

**豊田** 全国に協力雇用主は約1万6千名、富山県は285名と人口比率からいっても多いのですが、この数字の背景は?

**山本** 人口比率から云えば富山県はいつも1%です。予算においても人材においても全国の1%ですが、協力雇用主は2%近くまでいっております。また、就労者においても高い水準を保っており、これらの事が評価されて今回の表彰になったものと思っております。

**豊田** 会長は議員に保護司、消防に交通安全とたくさんおやりになられたのですが、今後はどのような活動を考えておられますか? 名誉保護司の県連会長との呼び声もありますか?

**山本** まだまだ保護司としても、雇用主としてもやりたい事はあります。今も対象者1名を雇用しておりますが、就労者の働きやすい環境作りに尽力したいと考えております。



法務省 厚生労働省

# 射水市更生保護女性会だより

## 総会記念講演

講師 射水市教育長 長井 忍氏

演題 「子どもを育てるということ」



去る4月27日、午後1時30分より小杉社会福祉会館において射水市更生保護女性会総会が開催され、議案が全て承認された後、「子どもを育てるといふこと」と題して射水市教育長長井忍氏に講演していただきました。

はじめに、聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生の「いのちは時間」についてお話をされ、「大人になったら自分の使える時間を誰か人のために使う人になってほしい」その活動のキーワードが「ボランティア」だとおっしゃいました。

### ①「犯罪や非行のない明るい社会のイメージ」

これこそ、「射水市が目指す教育」とお話しされました。そして、私達も目指している「更生保護女性会綱領」を例に、一人一人が人として尊重され、社会（射水市民）の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会を目指してほしいと話されました。

### ②「明るい社会の基盤」となる家庭の役割

家庭の機能・社会の機能については、落語家で少年院篤志面接委員の桂才賀さんの話を基に子供を叱れない大人たちの「怒る・叱る」の違いについてお聞きしました。

### ③「居場所づくり」を支援する人たちへの期待

この課題についても「更生保護女性会綱領」を基に話され、私達自身が活動のキーワードを呼び起こされた思いがしました。

教育長さん自身が、更生保護女性会の活動を知りたいという思いから「綱領」を基に詳しく説明して下さったことで、私達が更生保護活動を振り返る貴重な時間を共有することが出来ました。

「生きていいんだよ」を伝える人たちの存在こそが「更生保護」の役割であり「あったか家族が集うまちづくり」のため、3つのポイント「食事・おしゃべり・お手伝い」の普及啓発に努めなければならぬと感じました。

### ④「人生やり直しは出来ないけれど」

出直しはできる  
明るい射水市の創造と、多くの人達が出直すためのより確かな支えとなるよう更なる研鑽を積んで行きたいと意を新たにいたしました。

(Y・K)

## 市更生保護女性会 研修会に参加して

平成29年2月18日、小杉社会福祉会館にて、市更生保護女性会全体研修会が開催されました。33名の参加者が、6つのグループに分かれて行うワークショップ形式で、テーマの柱を3つに絞って意見交換をしました。

### ① 更生保護女性会の活動って何？

各地域の特色や実態に応じて、触れ合う年代層や内容もさまざまな活動が展開されています。紙芝居や絵本の読み聞かせ・ペープサーの寸劇や伝承遊び・七夕祭りや焼き芋パーティーなど、実に多彩です。活動の様子を熱心に語る会員の話に傾聴し、触れ合う相手とは「双方の学びの場」になっていることを実感しました。

### ② 子育て支援も活動の一端

地域のつながりが希薄になりつつある社会では、昔懐かしい「おせっかいおばさん」の役割が大切なこと。まずは、自分から積極的な挨拶を心がけ、開かれた地域づくりを目指していく姿勢が大切です。プライベートに配慮しながら、困っている人の悩みや不安に寄り添っ

ていくことです。なかでも、支援の重きを、子育て世代に向けることで、子どもの生活環境や態度なども改善され、みんなが「心丈夫」になっていきます。それが、地域の犯罪抑止や健全育成支援につながる「子どもの貧困」をくい止めます。



会員には、支援に向けて臆することなく踏み出す勇気が求められます。

### ③ どうやって、会員数を増やす？

地域コミュニティ機能の回復を図りながら、更な会への新会員獲得に向けて、積極的な呼びかけが必要です。そのためには、活動の趣旨を周知させるための機会と場の確保、民生委員や関係機関などとの更なる緊密な連携推進、そして何よりも、活動助成費捻出のための具体的な方策などを練っていくことが課題となりました。

この研修会を通して、会員が日頃感じている率直な思いを語り合うことが出来ました。今後も、課題解決に向けて会員の力を結集し、主体的に向き合っていくこととする連帯感が、より強固になったと思います。

(Y・T)

### 養得園への給食活動

5月7日、養得園の給食当番は大門地区でした。

若葉の香る爽やかな日、5人の参加です。給食活動を後押しするように、香る風が運んでくれる元気の出る日でした。今回は15人の給食です。早速と美味しいつやつやしたご飯の担当の人、食べ応えのある鶏の唐揚げ担当の人、赤と緑の素材を生かした色鮮やかな(緑黄色野菜)温野菜担当の人、鶏もも肉、根菜たっぷり入りボリュームのある筑前煮大根、人参、ひじき、油揚げのおすわい、味噌汁はえのき茸、わかめ、豆腐、それに漬物と六品の料理です。



どれもおふくろの味を少しでも思い出してもらえようにと……。

出来上がったものから盛付けし、盛付けたものをみて「わあーきれい」「まあー美味しそう」と、自己満足です。

入所者のみなさんは、20歳代～60歳代の14人。家庭を思い出してもらえるかな？親を思い出してもらえるかな？食べの様子を想像していました。

給食をそれぞれ作り終え写真を撮って頂きました。事務所で施設長さんより最近の園生の状況を聞き、犯罪が少し少なくなってきたと伺い、また養得園は狭く老朽化しているので平成30年には全面改築で3階建てが計画されていると聴きました。また園生は感激して食しておりましたと聞き感謝の言葉も頂きました。園生代表からは「いつも美味しい夕食ありがとうございます。楽しみにして頂きます」とお礼の言葉もありました。

日頃、それぞれの家庭によって、野菜の切り方、味つけは違いますけどお互いに味見しながら、腕をふるって作った給食活動でした。(S・H)



### 視察研修を振り返って

7月5日～6日は梅雨前線の影響で大雨警報と、台風3号の上陸が心配される中、九州の洪水被害を案じながら、一路視察・研修の東京へと向かいました。ところが、長野あたりから心配無用とばかりに、美しい山並みが見えたり緑の木々に癒されたり、心がうきうきするよくな天気となりました。嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

いよいよ東京都内へ。1番目の研修地である世界遺産・国立西洋美術館へ行きました。「モノの睡蓮」の前に立った時の心境は計り知れないものがありました。係員の方から「本物ですよ」と言われた時、こんな近くで素晴らしい作品に出会えた事に、嬉しさが胸がキュンとしました。

新橋演舞場では、松竹「七月名作喜劇公演」で川口松太郎作「大江戸みやげ」を観劇しました。波乃久理子さんや、皆さんお馴染みの小林綾子さんによる心温まる人情話に感動しました。「紺屋と高尾」には、浅野ゆう子さん主演の豪華メンバーによる遊女と紺屋職人との一目惚れ純愛喜劇物語。笑いに酔いしれた夕べでした。

翌日ホテルを9時に出発。国宝・迎賓館赤坂離宮では、多くの国賓を出迎える迎賓館と思うと、感慨深いものがあります。

ました。「本館・主庭・前庭」ではゆっくり見学ができ、本物をこの目で見た時の感動は生涯忘れられません。ありません。



▲迎賓館赤坂離宮

赤坂茶寮で昼食をいただいた後、今回最後の研修地、都議会議事堂を案内の方の詳しい説明を聞きながら視察しました。日本の中心である東京の活躍と繁栄を願わざるを得ません。



▲都議会議事堂

2日間バスの移動では、初対面の方々と和気あいあいとお話させて貰いました。私達一人一人が、人として「愛されて」「尊重されて」「生きていく社会への思い、皆が心豊かに生きていくことができる明るい社会を願う思い。同じ志を持つ皆様と、意義ある視察・研修旅行ができました。(H・K)

### 射水市更生保護女性会だより

## 射水保護司会定期総会開催 新会長に江尻昭さんを選任

4月25日(火)射水市役所3階会議室において、平成29年度射水保護司会定期総会を開催しました。

五十嵐繁久会長の挨拶に続いて、村木康弘富山保護観察所長、夏野元志射水市長、中村文隆射水市議会副議長、小林昭洋射水警察署長から祝辞と激励の言葉をいただきました。

来賓として、射水市教育委員会委員長井忍教育長、黒田和治射水市中学校長会長、杉浦敬美射水市小学校長会長、村上欣哉射水市社会福祉協議会事務局長、門田晉射水市共同募金委員会会長、鈴木敬子青少年育成射水市民会議会長、射水市地域福祉課、射水市更生保護女性会の御臨席を賜りました。

引き続き審議に入り、平成28年度事業報告と決算報告、役員の改選、平成29年度事業計画(案)と収支予算(案)が原案通り承認可決され、総会は滞りなく終了しました。

五十嵐繁久会長の退任に伴い会長に江尻昭氏を選任し、副会長には豊田博保氏、新中孝子氏が就きました。江尻昭新会長が、サポートセンターをより一層活用し、会員同士の交流を深め、より活発な活動を目指したいとあいさつしました。



## 福井県坂井地区保護司会 坂井町部会の皆様 サポートセンターに訪

6月21日、サポートセンター射水に福井県坂井地区保護司会坂井町部会(文殊康祐部会長)より5名をお迎えしました。射水保護司会からは、江尻会長他5名が参加し、事務所の見学後懇談会を行いました。

- ①サポートセンターの運営について  
駐在、使用状況、課題
- ②「社会を明るくする運動」の活動内容と実施状況
- ③学校などの他機関・団体との連携について(現状と課題)
- ④広報誌の発刊と配布先について

この他、多方面にわたり話が弾み、参考になるお話もたくさん伺うことができ、とても充実した時間となりました。

## サポートセンターだよ！

澤 英明

平成29年1月、保護観察所から生活環境調整の依頼があった。家庭を訪問すると、年金暮らしに入った病身の老夫婦が、長男の帰りをひっそりと待っている状況に見えた。玄関には大小のプラントが所狭しと並び、猫が玄関前に寝そべってこちらを見ている。老婦人が「お客さん。あっちへ行かれ。」と猫を急ぎたてていた。

ある日、サポートセンターに来ておられた保護司さんたちに、「猫や犬を飼う人にどのように声をかけたか心を開いていただけませんか。」と投げかけた。Aさんが反応され、話が弾む。

後日彼女は愛犬をサポートセンターに連れて来られた。同時に「僕に生きる力をくれた犬」という本を持参された。アメリカオレゴン州マクラレン青年更生施設でのドックプログラムの更生状況を綴ったものだった。飼い主に捨てられたり、虐待を受けたりして保護された犬を育て、訓練を実施する過程で、受刑者が責任感や社会性を身に着けていくことを目的としている。

1981年以来百例以上実施され、再犯率ゼロという。

このプログラムに参加した若者が、飼い主を信じ、寄り添う純な犬の行動に人間以上の愛情を感じるであろうことや、犬が新しい家族と幸せに暮すために身につけておかなければならないことを考えるであろうことは、私にも伝わってくる。本の中では、「私も聞かれて、「我慢できないところ。犬それぞれで習得のスピードが違うだろうから、そこで我慢強さを身につけたいんだ。」と語っているのが印象的であった。彼も、以前は犬を飼っていたという。

犬や猫と一緒に暮らす人の気持ちに寄り添い、その目線で家庭を見、言葉を発することを心掛けたと思う。サポートセンターでの会話が、支援の方向を支えてくれている。

家庭訪問での会話を通じて、父子関係に課題ありと感じた。プラントの世話をしているのは父親だという。そこに、寡黙な父親と心を結ぶもう一つの鍵がありそうである。

# 各部会活動報告

## ◆ 総務部会

総務部会は理事会を兼ねて、研修・保護観察、地域活動、協力組織、学校、広報の各部会が所掌しない行事や事務について連絡調整を行っています。

年度当初は、総会を始め七月の「社会を明るくする運動」の協調月間に向けて、行事が目白押しでした。

今後の主な行事を掲載しますので、ご参加・ご協力をお願い致します。

- 7月1日 第55回富山県中学生生活体験発表大会
- 7月3日 薬物乱用防止教室(東明小)以降計14小学校で実施
- 7月16日 富山県更生保護フェアー「氷見第67回」社会を明るくする運動
- 7月17日 街頭広報活動
- 8月5日 新中孝子氏藍綬褒章祝賀会
- 8月8日 地域処遇会議・(SST研修)
- 8月22日 第2期地域別定例研修会
- 9月12日 第3回理事会
- 9月28日 更生保護協力会員企業先訪問
- 10月18・19日 県外視察研修
- 11月17日 富山県更生保護大会
- 11月25日 射水市作品コンテスト表彰式
- 12月5日 第3期地域別定例研修会
- 2月6日 第4期地域別定例研修会

## ◆ 研修部会

今年度の重要な研修として吉田みゆき同朋大学(名古屋市)准教授を講師にお迎えしてSST研修を8月8日(火)に行いました。SSTとはソーシャルスキルトレーニングの略語です。私たちはいろいろな人とコミュニケーションをとって暮らしていますが、そこで発揮される能力が対人スキルです。対象者と向き合う対人スキルを身につけるための研修がSST研修です。私事ですが、今回の研修実施にあたり、8月下旬に東京で2日間にわたり研修に県から一人参加することになりました。

また近年薬物事例が増加傾向にあるため、薬物依存者のための民間リハビリ施設であるダルクについて勉強するため、第2期定期研修のあとの自主研修では富山ダルクの運営者に来ていただき、薬物依存症からの回復と社会復帰の現状についての実態について話を伺う予定です。そして恒例となっております県外研修視察は自主研修会で学んだことをふまえて滋賀県大津市の「琵琶湖ダルク」を訪問し、施設の状況を実際に見て意見交換を行い、勉強をして来る予定です。これまで2回県外研修視察を行ってきましたが、実際に見て聞いて保護司としてのスキルを高めるのに大変役に立ちましたが、それ以上に参加者同士の交流が深まりとても有意義でした。今回もどのような出会いがあるのかとても楽しみです。

(瀧内記)

## ◆ 地域活動部会

海の日(7月17日)、海王丸パークで「社会を明るくする運動」の街頭宣伝活動を展開し、多くの方々に参加いただきありがとうございました。昨年の12月に、再犯防止等の推進に関する法律が成立し、施行されました。第6条において、国民の関心と理解を深めるため、再犯防止啓発月間(7月)を設けると規定され、社明運動だけではなく地方公共団体との連携を図って欲しいとの要請を受けまして、7月は「社会を明るくする運動」強調月間と共に再犯防止啓発月間となりました。

## ◆ 学校部会

### 犯罪予防活動の推進

- (1)「社会を明るくする運動」の推進
  - 5月に第36回射水市中学生生活体験発表大会を射北中学校で開催。
  - 6月に作品コンテストの作品募集を学校に依頼。11月に優秀作品表彰式を予定。
- (2)薬物乱用防止啓発活動の推進
  - ライオンズクラブと連携し、市内小学校を対象に薬物乱用防止教室を開催。

これらの犯罪予防活動が小・中学生の非行や犯罪に陥らない「心の育成」に結びつくことを願っています。

市内小・中学校との連携をより密にし、関係する皆様のご理解とご協力をいただきながら、息の長い活動をしていきたいと思えます。今後とも、犯罪予防活動の推進にご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## ◆ 協力組織部会便り

協力組織部会では、(1)更生保護女性会・BBS会の育成、活性化の支援(2)協力雇用主・民間協力者の発掘等社会資源の開拓と組織化・参加協力要請(3)更生保護法人に対する協力(4)関係機関、団体に対する保護司活動への協力要請(5)社会貢献活動への積極的参加を基本方針として活動を行っています。

6月2日には、射水地区更生保護協力雇用主会総会にて、雇用主会との活発な意見交換が行われました。7月14日には、射水市更生保護協力会総会、9月28日には更生保護協力会員企業先訪問が予定されています。今後とも、皆様のご協力の程、お願いいたします。



## ◆ 広報部会

- 4月7日 県「広報部会」編集委員会
- 5月24日 県「広報部会」編集委員会
- 8月20日 「射水更生保護」23号発行
- 10月13日 県「広報部会」編集委員会
- 1月19日 県「広報部会」編集委員会

射水保護司会事務局日誌

平成29年度の行事及び行事予定をお伝えします

- 4月11日 第1回理事會
- 4月18日 薬物乱用防止教室について  
ライオンスクラブと打合せ
- 4月25日 射水保護司会定期総会
- 4月27日 市更生保護女性会定期総会
- 5月11日 「社会を明るくする運動」  
県推進委員会
- 5月18日 市中学生生活体験発表大会
- 5月23日 第1期定期研修會
- 5月31日 「社会を明るくする運動」  
射水市推進委員会
- 6月2日 射水地区更生保護  
協力雇用主会定期総会
- 6月13日 第3回三役會
- 6月21日 第2回理事會
- 6月21日 福井県坂井地区保護司会サポート  
センター射水視察・懇談
- 6月30日 第67回「社会を明るくする運動」  
首相・県知事メッセージ伝達式
- 7月1日 県中学生生活体験発表大会
- 7月3日 薬物乱用防止教室（東明小）  
順次市内14小学校で実施
- 7月4日 薬物乱用防止教室（新湊小）
- 7月11日 第4回三役會
- 7月12日 薬物乱用防止教室（大島小）
- 7月14日 市更生保護協力会定期総會
- 7月16日 県更生保護フェア水見
- 7月17日 「社会を明るくする運動」  
海王丸パークで街頭広報活動
- 8月5日 新中孝子氏授章祝賀會
- 8月8日 地域処遇會議（SST研修）  
第5回三役會
- 8月22日 第2期定期研修會
- 9月12日 第6回三役會
- 9月28日 第3回理事會
- 9月28日 市更生保護協力会會員企業訪問
- 10月10日 第7回三役會
- 10月18日～19日 県外研修（琵琶湖タルク）
- 11月10日 薬物乱用防止教室（作道小）
- 11月14日 第8回三役會
- 11月17日 第48回県更生保護大会
- 11月25日 市作品コンテスト表彰式
- 12月5日 第3期定期研修會
- 12月12日 第9回三役會
- 12月12日 平成30年度の行事予定をお伝えします
- 1月12日 薬物乱用防止教室（片口小）
- 1月17日 薬物乱用防止教室（塚原小）
- 1月25日 薬物乱用防止教室（太閤山小）
- 1月31日 薬物乱用防止教室（大門小）
- 2月1日 薬物乱用防止教室（金山小）
- 2月9日 薬物乱用防止教室（中太閤山小）
- 2月6日 薬物乱用防止教室（下村小）  
第4期定期研修會
- 2月14日 新任・退任保護司歡送迎會
- 2月15日 薬物乱用防止教室（堀岡小）
- 2月15日 薬物乱用防止教室（小杉小）
- 2月15日 薬物乱用防止教室（歌の森小）

保護司の異動（敬称略）

○新任保護司（平成29年5月28日付）  
安田 久実代



▲射水地区更生保護協力雇用主会 定期総會総会（6月2日）  
山本修會長を再任（前列中央）



▲射水市更生保護協力会定期総會（7月14日）

新中孝子氏の藍綬褒章受章を祝う

平成29年春の  
褒章で藍綬褒章  
を受章された  
新中孝子氏の受章  
祝賀會が8月5日  
第一イン新湊で開  
かれ、永年更生保  
護に尽くした功績  
をたたえました。



▲新中孝子氏受章祝賀會にて  
（8月5日）

編集後記

7月は「社会を明るくする運動」強調月間で、我が保護司会のみならず全国でも各種行事が展開されている。

先日、旅先で社明のポスターや桃太郎旗が掲示されているのを見た。「あゝ此処にも私たちと同じく頑張っている保護司会がある」と思うとなんだかファイトが湧いてきた。私たちの活動は地道な活動だが継続は力だ。頑張ろう。（平野記）